

R2経営目標 事務局説明にかかる委員意見

法人名		委員意見	法人回答
6月17日	1 大阪府道路公社	<p>①「適正な維持管理費の執行」のうち、令和2年度にずれ込んだ工事の費用はどのくらいなのか。</p> <p>②令和2年度の工事に遅れは生じているのか。遅れているのであれば、来年度にずれ込んでくるため、その数値も目標値に盛り込まれているのか。</p>	<p>① 91百万円 【工事内容】 (鳥飼仁和寺大橋) ・中央分離帯漏水対策防水工事、道路情報板工事(箕面有料道路) ・北出口付近防災対策工事、雨水排水ポンプ工事</p> <p>なお、上記工事をR元年度に実施した場合の維持管理費は1,080百万円であり、工事を実施できていた場合でも成果目標指標(1,082百万円)は達成見込みです。</p> <p>②R2年度当初からの工事で、現在遅れは生じておりません。</p>
6月24日	2 (一財)大阪府みどり公社	<p>「多様な担い手」というワードがあるが、遊休農地の解消等の目的に向けて、どういった所と連携を行うべきかや、連携先の検証、連携先を探すこと等は行っているのか。</p> <p>また、PDCAサイクルを回して、より良い効果が出るよう対応されているのか。</p>	<p>○府、市町村、農業団体(JA、農業委員会、土地改良区)との連携については、公社として計画値以上の農地貸借を実現できていることを踏まえ、現在の取組み手法が有効に働いていると考えています。</p> <p>○新規就農を希望する府民や法人の農地借入(遊休農地を含む)については地域の理解を得る事が極めて重要であり、借入の申込みがあれば、借入先の市町村や関係する農業団体等と密に連携をとりながら事業に取り組んでいる状況です。</p> <p>○また、定期的(月1回程度)に府の農地利用促進チームと進捗状況について打合せを行い、地域ごとの課題を把握し、担い手の確保やキーパーソンへのアプローチなど、当該地域の課題に応じた対応策を検討し、実施しています。</p>